

ドラッカー時代を超える言葉 経営者のための「八つの習慣」

上田 惇生 著 タイヤモンド社
引用文献「経営者の条件」

「経営者が成果をあげるには、近ごろの意味でのリーダーである必要はない。私がこれまで会ったCEOのほとんどが、いわゆるリーダータイプではない人だった。彼らが成果をあげたのは、八つのことを習慣化していたからだだった」

この文章は、「ハーバード・ビジネス・レビュー二〇〇四年六月号」に寄稿したドラッカー九四歳のときの、経営者への最後の助言である。経営者として成果をあげるには、特別の気質も能力もいらぬという。たった八つのことを身につければよい。これほどまでにカづけられるやさしい言葉はない。

- 第一が、なされるべきことを考えることである。ドラッカーはくどいくらいに念を押す。「なされるべき」ことである。「なしたい」ことではない。
- 第二が、組織のことを考えることである。株主、従業員、取引先、経営者のことではない。彼らはいずれも大事である。しかし彼らのことを考える前に社会の公器としての組織のことを考えなければならない。
- 第三が、アクションプランをつくることである。経営者とは行動すべき者である。そのためには、緻密なアクションプランが必要である。しかし状況が変化すれば、直ちに変更していく。こうして事業の展開について日常からシミュレーションを行って行く。
- 第四が、意思決定を行うことである。もちろん意思決定は定期的に見直していかなければならない。
- 第五が、コミュニケーションを行うことである。特にアクションプランについて、コミュニケーションを行わなければならない。
- 第六が、機会に焦点を合わせることである。問題の処理はいかに重大であつても成果をもたらすわけではない。成果は機会がもたらす。
- 第七が、会議の生産性を上げることである。人は会議に出ているか、仕事をしているかである。会議に出ているだけでは、仕事はできない。
- 第八が、「私は」ではなく「われわれは」考えることである。



P.F. ドラッカー

「成果をあげるには、性格、強み、弱み、価値観、信条はいかようであつてもよい。なされるべきことをなすだけでよい。成果をあげることは、習慣である。したがって、他の習慣と同じように身につけることのできるものである。そして身につけなければならないものである」

砕啄同時

殻を破るべきタイミングを逃さずに

この「砕」とは、いままさに生まれ出ようとする雛が卵の中から殻を破ろうとすること。「啄」は、親鳥が外からくちばしで卵の殻をつつくこと。それが同時というのは、生まれ出ようとするものと、それを手助けしようとするもののタイミングがピッタリ合うことを閉めしています。

禅門では、解脱し悟りを得ようとする修行者と、それを導師の関係をあらわし。とくに「啄」にあたる指導者側が機をとらえて悟りのきつかけとなる一助を与えることをいいます。時機が早すぎてもかえって迷いを深め、時機を逃してしまつと解脱はますます遠ざかってしまいます。悟りを開かんとする「砕啄の機」を逃さず、子弟が同時に働きかけることが大事なのです。

機を逃さないために重要なのは、相手が今どんな状態なのかをよく理解してやること。親と子や、上司と部下、スポーツの子弟関係も同じです。相手を見ず、ただやみくもに外からつついているだけではだめなのです。「自分を信じて、もうひとふんばりしてみよう」。そんな何げないひとことでも、機に応じたものであれば相手に響き、大きな力を与えることができるのです。

『碧眼録』第十六則に「およそ行脚の人は須らく砕啄同時の眼を具し、砕啄同時の用あつて、まさに納僧と称すべし」とある。「用」ははたらき、「納僧」は真の禅僧の意。

ふつと心が 禪の言葉

NHK人間講座「数学の愛し方」

ピーター・フランクル

みなさんは、数学とはどういうものだとお考えでしょうか。「実際の生活にはほとんど応用できない、何の役にも立たない学問だ」と思っている人が多いのではないのでしょうか。これは、数学嫌いを自認している人はもちろん、学校時代にかなり数学を勉強してきた人たちにさえ根強い意見です。たしかに社会人になって三角関数を使うことは減多にないし、毎日の生活のなかで方程式を解くこともほとんどないのは事実なので、そう思うのも無理はないのかもしれない。

しかし実は、数学は二〇世紀、特にその後半からは非常に広い範囲で、それもみなさんの身近なところで使われるようになってきています。かつて「数学の王様」と称えられた一九世紀ドイツの数学者、ガウス（一七七七―一八五五）は、「ある学問が本当の意味での学問であるかどうかを知るためには、そのなかに数学がどの程度使われているかを見るのが最も早道だ」と言いました。



カール・フリードリヒ・ガウス

ある学問（ここでは自然科学のことです）に使われている数学の量とその学問の科学性とは比例して、数学が増えれば増えるほどその学問はきちんとした意味を持つ理論になっていく、とガウスは言ったのです。とはいえ、二〇世紀前半までは数学が応用されたのは物理学だけでした。ところが二〇世紀後半になると数学は、

おそろくガウスの期待を超えて、他のさまざまな学問分野に浸透し、それらの発展を助け、同時に実用とも大きく結びつくことになったのです。例えば数学の一分野に統計確率理論があります。これはみなさんの生活に大いに関係があります。というのは、テレビ、ラジオで一日中数え切れないくらい流されている天気予報にとり入れられているからです。すなわち、確率統計理論をもとにした数学的モデルに現在の気象データをインプットし、それをスーパーコンピュータで処理してこれからの気象の動きを予測するというのが、現在の天気予報の方法なのです。また、これからの五〇年間で数学がいちばん使われるのは、おそらく医学・生物学ではないかといわれています。これには例えば、身近なところではみなさんの健康に直接かかわる薬の試験に使われる統計学から、壮大なところではヒトゲノムにかかわる数学まであります。実際、ヒトゲノムプロジェクトによる遺伝子情報の解読の成功には、一九七〇年代後半に生まれた数学的生物学という学問の貢献が大きかったし、これから先、遺伝子情報を活用する、つまりその莫大なデータの中から数々のたいせつな法則を見出す過程でも、数学が大きな役割を果たすはずなのです。また最新の医療診断ではMRI（核磁気共鳴画像）が幅をきかせています。このMRIはまさに数学的機械で、三角関数が出てくるフリー工解析に基づいています。



ピーター・フランクル

不動産の共有名義で「困った！」

林 清忠 司法書士・行政書士 林 清忠事務所

こんにちには、司法書士の林清忠です。今回も、不動産の共有名義で「困った」と題してお話しさせていただきます。どうぞよろしくお願ひします。そもそも、不動産が共有名義になるのは、どんな場合でしょうか？

▽単独名義の不動産が共有名義になるのは、ズバリ、相続により共有名義にする場合です。もちろん、夫婦や親子以外の複数人で不動産を購入しても共有名義にはなりません。また、そんなことをする人はなかなかいないと思ひますので、相続の場合について検討します。

▽相続が開始し、当事者間でなかなか遺産分割協議がまとまらない場合、苦しい紛れがあり、不安に不動産を共有に売却しようとする場合があります。直ぐに売却する不動産の場合はよしとして「困った！」ことになり得ます。▽将来の相続関係がある親子の共有の場合でも、出来ることなら兄弟の場合、将来の相続関係がない兄弟の場合、いずれは解決しなければならぬ問題が残ることになります。一方で、相続税がかかる場合、申告の期限内に遺産分割協議をまとめるといういけないということもあります。相続は、遺産分割協議の結果、「何の財産も、逆には、法定相続分が欲しい」というのもあります。単に、財産が欲しいとかいらぬとかではなく、心配事を将来に残さないためにも、不動産を共有名義にすることはやめておいた方がいいのですが、そうならないためにも相続開始前の出来る限りの対策は軽にご相談ください。

次回も、不動産の共有名義で「困った」についてお話しします

幸福相続相談センター 「なごの相談所」でのお話

Vol.5

なごの相談所
名古屋市西区那古野
1-13-1
電話 052-565-1501
FAX. 052-565-1502
E-mail.plus-a@mediacat.ne.jp
なんでもお答えします
支配人 山口 徹

（相談者）あなた：先生、三月になったね。うちも決算月になってバタバタしちゃってさ。息子とかは俺に邪魔だから事務所から出て行けって言うんだよね。

（スタッフ）あなた：あら、いつも威勢のいいのね。あなた：俺ね、数字は全然ダメなの。社長でもダメなこと、あるんですね。あなた：あるよ！誰だって、苦手なものとかあるでしょ。俺の場合は数字なの。でね、先生、この辺で息子に事業を任せようかと考えているんだけど、どうかな？

あなた：息子さんだったら、良いんじゃないですか。もう、立派に切り盛りしてますよ。でも、いやあ、まだまだだよ。でもそろそろ息子も50代だしね。将来さ、「新社長になりました！」「って挨拶した時に60歳では何だか新鮮ないもんね。なごの：「新社長、誕生」のすきに「會長になりました！」では笑い話にもなりません。あなた：そうそう、俺の時40歳の時に社長になったから、かれこれ40年近く社長やらしてもらったけど。

なごの：社長、この際、息子さんを代表にして引退されたらいかがですか？あなた：引退かあ。で、引退して何やるの？

あなた：うーん、今まで通りじゃ、なくなりますがね。あなた：そうなんだよ！今までの「朝起きて会社へ行って夕方6時になったら会社が終わって、ちよいと近く一杯引掛りに行く」のが習慣なのに、毎日が変わっちゃうよ。なごの：サラリーマンの定年後に何をしたいのか分らないという心境と同じですね。社長の場合は、サラリーマンの定年をはるかに超えてますが、何して良いのかわからないから、「仕事へ行く！」てどうだ！

あなた：ですが、息子さんたちや会社のことを考えますと「新社長誕生！」は、大事なことですね。会社も、時代に合わせて変化しなければいけません。あなた：俺は、仕事を上げられたら、何も残らん。なごの：これからは、社長の「第二の人生」をどうに考えたらいかがですか？あなた：「第二」ねえ、俺は「第一」のままでもいいんだけどなあ。あなた：何言ってるんですか、長い人生、仕事ばかりで後悔しませんか？いつかは仕事もできなくなるかもしれせんから、「第二の人生」で楽しいことを見つけてみましょう！

あなた：いや、だから第一も楽しいって。▽次号「引退」その二へ続く